



医療機関における 外国人観光客 受入態勢整備セミナー



増加する外国人観光客。医療機関に求められる、外国人患者の受入態勢整備の方法をご紹介します。国立国際医療研究センターにて外国人患者受入コーディネーターを務める堀成美氏より、外国人患者の属性ごとの対応、医療通訳体制の整備、未集金対策等について、同病院の事例を踏まえて実践的な対策をお話いただきます。

【講師】

国立研究開発法人
国立国際医療研究センター

国政感染症センター
国際診療部医療コーディネーター併任

ほり なるみ

堀成美 氏

【略歴】

神奈川大学法学部、東京女子医科大学看護短期大学卒業。民間病院、公立病院の感染症科勤務を経て、2007-2009年国立感染症研究所 実地疫学専門家コース(FETP)修了、2009-2012年 聖路加国際大学・助教(看護教育学/感染症看護)、2013年より国立国際医療研究センター国際感染症センターに勤務(感染症対策専門職)。2015年4月より同 国際診療部 医療コーディネーター併任。東京学芸大学大学院 博士課程満期退学(教育学修士)、国立保健医療科学院(健康危機管理学、Master of Public Health)修了。

日時 平成30年1月31日(水) 13:30受付 14:00～16:00

場所 沖縄産業支援センター1F 大ホール

【住所】沖縄県那覇市字小禄1831番地1

対象 医療機関における外国人患者受入れ担当者等

料金 無料 定員 180名



申込締切
平成30年1月24日(水)

お申込み先 FAX(098-859-6222)又はE-mail(inbound@ocvb.or.jp)

ご所属			
TEL		Mail	
参加者①		参加者③	
参加者②		参加者④	
講師への 事前質問			

受入事業部 受入推進課



TEL.098-859-6129/FAX.098-859-6222

E-mail:inbound@ocvb.or.jp

〒901-0152沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター2F
一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー(担当:大城、池間、比嘉)